

第14回 自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会

第14回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会を下記のとおり開催いたします。今回は、NPO法人西日本自然史系博物館ネットワークの企画・運営により、パソコンを使った実習を中心に研究会を行います。実習の内容は、パソコンを使った分布図の作成方法です。主に、フリーのGISやデータ、GBIFのサイトを利用しての実習になります。1人1台パソコンがあたります。また、GBIFのデータ・プロバイダーになるためのツールキットの使い方に関する説明も行います。GBIFのデータ管理の方式やしぐみを学ぶことができます。

参加希望の方は1月20日(月)までにメールまたはFAXで下記担当までご返送ください。

主催：NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク

共催：国立科学博物館

日時：2010年2月1日(月)13時30分～17時

場所：大阪産業創造館 パソコン実習室5F

地下鉄 堺筋本町駅 徒歩5分

http://shisetsu.sansokan.jp/rent/rent_j.html

<http://www.sansokan.jp/map/>

内容：以下のとおり、講義ならびに実習を行います。

1)【講義】GBIFの新しいデータ公開システムIPTとその背景 (東京大学 神保宇嗣)

GBIFによる標本及び観察情報・チェックリストおよびメタデータの公開システムGBIF Integrated Publishing Toolkit (IPT)と、それを含めたGBIFの新しい情報インフラの概要を紹介する。

2)【実習】パソコンで分布図を作成する方法 (人と自然の博物館 三橋弘宗)

- ・GBIFデータの閲覧とDL
- ・フリーGIS (QGIS) の利用
- ・位置情報の取得方法
- ・背景地図のDLと利用
- ・投影法変換の方法
- ・地図の重ね併せとレイアウト
- ・展示パネルの作成とプレゼンテーション

参加料金：1500円(予定)

(テキスト代としてNPO西日本自然史系博物館ネットワークから領収書を発行します)

申し込み先：兵庫県立人と自然の博物館 高野温子・北村俊平

takano@hitohaku.jp

締め切り：2010年1月20日(月)まで